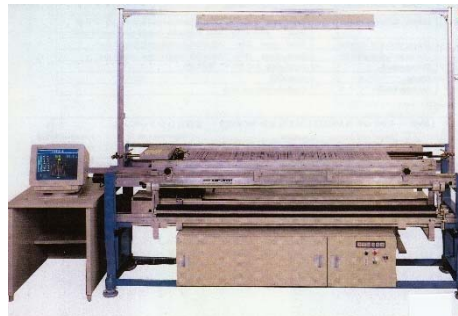


全自動高密度オサ通し機

(株)橋詰研究所 (福井市)

昭和 63 年度 テキスタイルカントリー事業
平成 3 年度 発明技術実証化研究事業



問合せ先 企画支援部

背景と経緯

織物製造における経系のオサ通し作業は経験と時間を要し、織物製造工程のネックとなっていました。近年の高密度織物への市場ニーズの高まりや工場の合理化、人件費の節約などによりこの工程の能率向上が是非とも必要となっていました。福井県工業技術センターは、経系のオサ通し装置の研究を進め特許を取得しました。(株)橋詰研究所はこの特許の実施許諾を受け、福井県工業技術センターと共同で全自動高密度オサ通し機の製品化を目指し研究開発を行いました。

成果と製品化の状況

本装置はオサの表面を CCD カメラで撮影し、その画像処理でオサ羽間の中心を検出しその位置に糸通しヘッドを精密に位置決めして糸通しを行うものです。これにより、スクリーン紗や、電子部品用基盤などに用いる極細高密度織物製造用の超高密度オサ (200~500 羽/inch) への全自動オサ通しが可能となりました。この装置は国内外に多数販売されています。

平成 4 年度(財)機械振興協会「中小企業向け自動化機械開発賞」受賞

